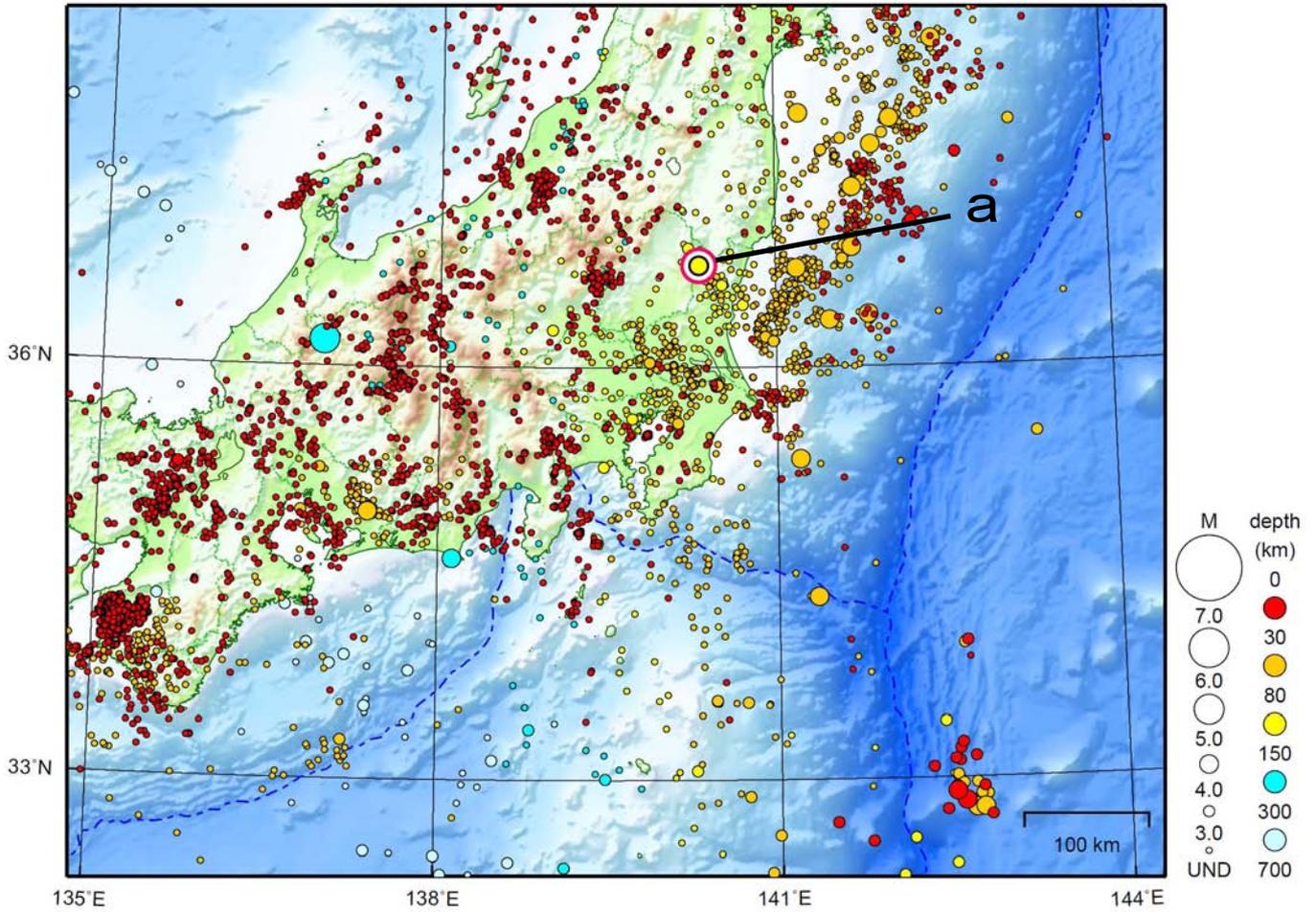


関東・中部地方

2010/08/01 00:00 ~ 2010/08/31 24:00

N=4923



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

a) 8月3日に茨城県北部でM4.6の地震(最大震度3)が発生した。

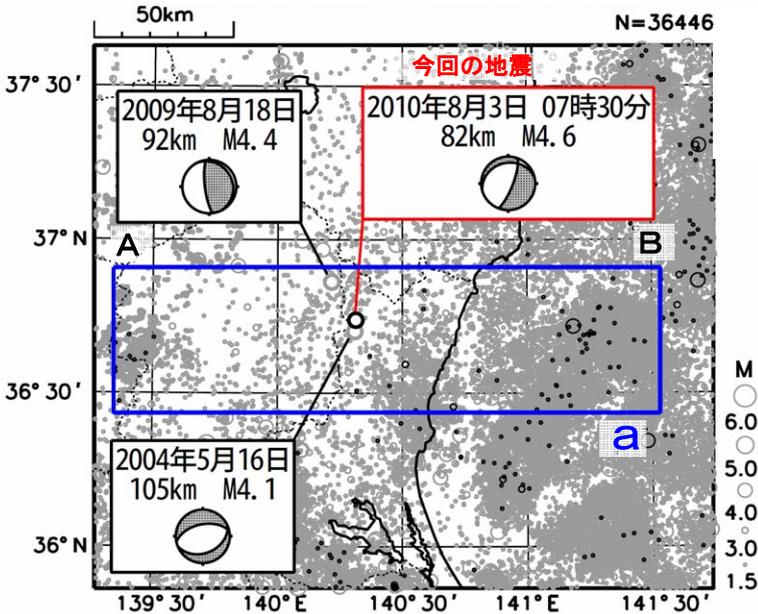
(地図の範囲外)

8月14日に父島近海でM5.2の地震(最大震度3)が発生した。

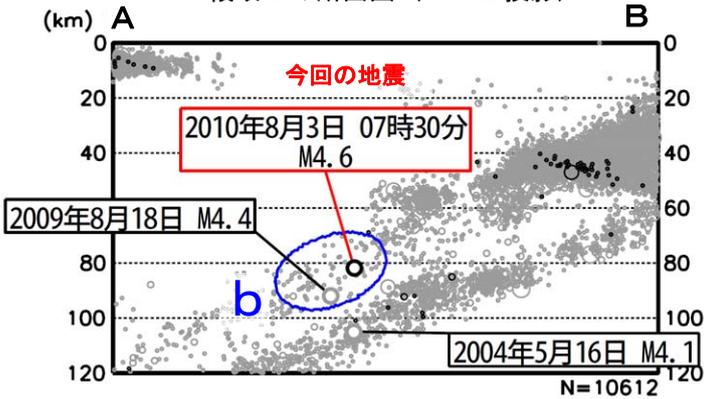
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

8月3日 茨城県北部の地震

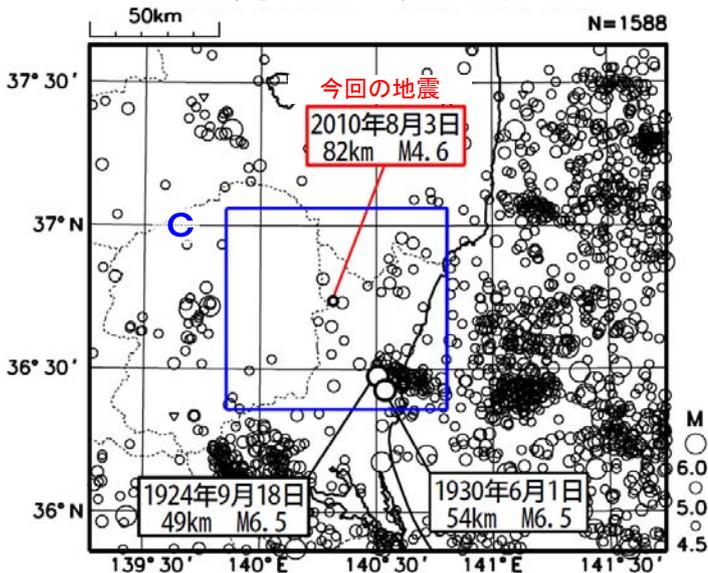
震央分布図 (1997年10月1日～2010年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 1.5$)
2010年8月以降の地震を濃く表示



領域aの断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日～2010年8月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 4.5$)

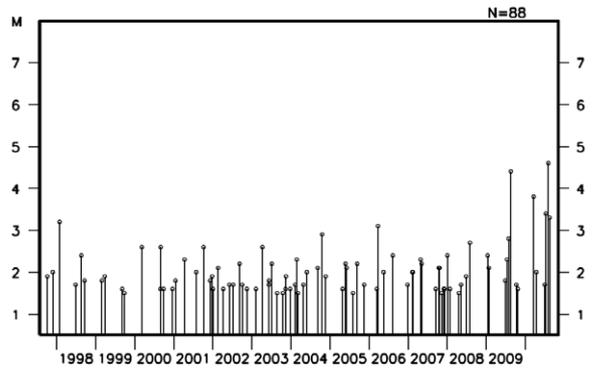


2010年8月3日07時30分に茨城県北部の深さ82kmでM4.6の地震(最大震度3)が発生した。

この地震の発震機構は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

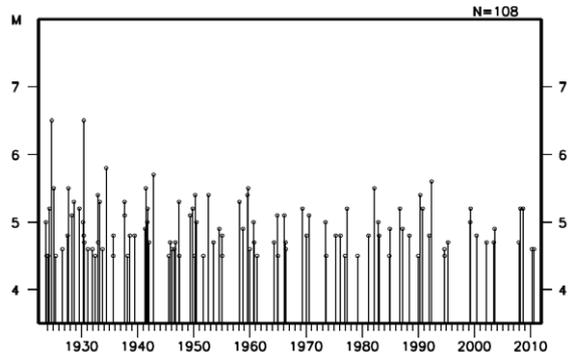
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震は発生していない。

領域b内の地震活動経過図



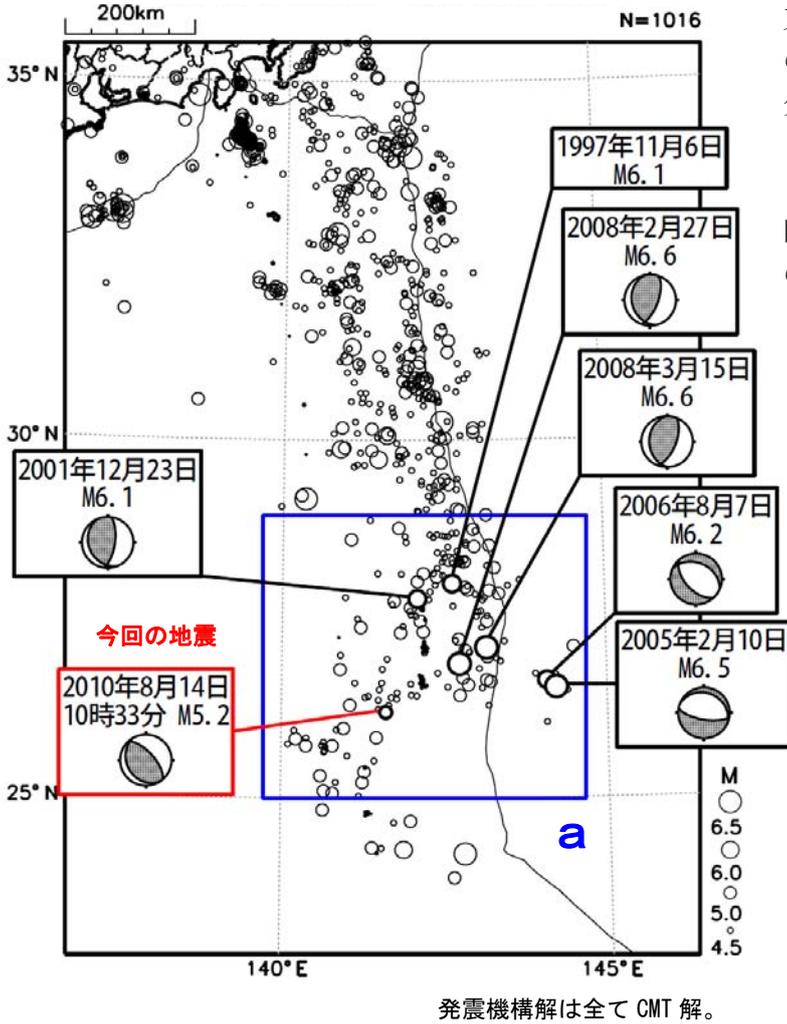
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M6.0以上の地震が2回発生している。

領域c内の地震活動経過図



8月14日 父島近海の地震

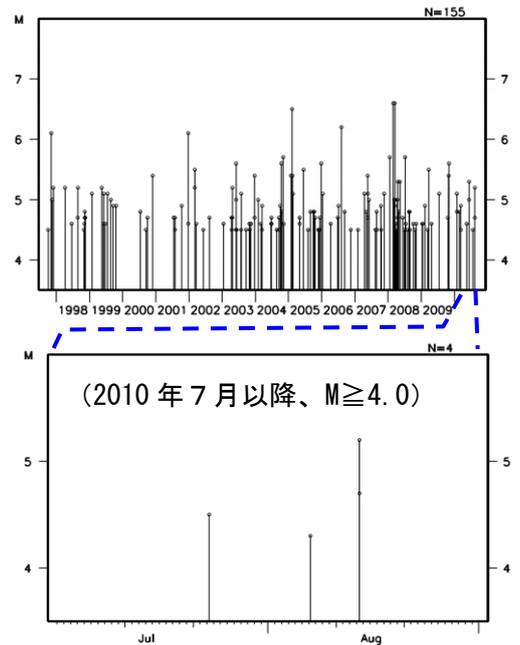
震央分布図 (1997年10月1日~2010年8月31日、深さ0~200km、M≥4.5)



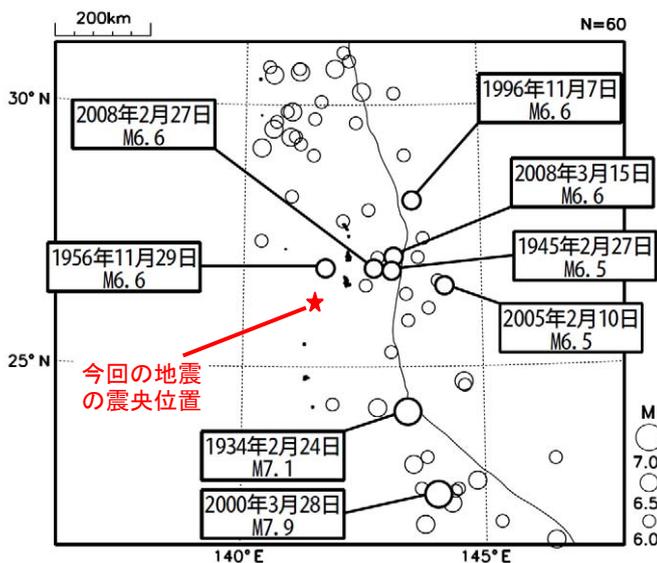
2010年8月14日10時33分に父島近海の深さ107kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した地震である。発震機構(CMT解)は北東-南西方向に圧力軸を持つ型であった。この地震のほぼ同じ場所で約10分後の10時42分にM4.7(最大震度2)の地震が発生している。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)ではM6.0以上の地震が時々発生しており、最近では2008年2月27日と3月15日にそれぞれM6.6の地震(いずれも最大震度3)が発生している。

領域a内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月以降、深さ0~200km、M≥6.0)



左図の時空間分布図(南北投影)

